



地域ふれあいサロン交流会 (令和4年4月25日 健康文化センター)

大口社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



- ② ★ 地域ふれあいサロン交流会
- ③ ★ ふれあいサロン連載コーナー
- ④ ★ 新型コロナウイルス感染者支援
- ⑤ ★ しゃきょうおたすけ隊サービス
- ⑥ ★ 令和4年度事業計画
- ⑧ ★ 評議員・理事・監事のご紹介
- ⑨ ★ 令和4年度予算のあらまし ★ 組織体制
- ⑩ ★ ぎゅっと 大口町児童センター等の紹介
- ⑪ ★ 介護豆知識 フレイルについて
- ⑫ ★ ボランティア情報局 夏休み出前講座について
- ⑭ ★ オレンジカフェ・大口 ★ フリースペースれんげそう
★ 大口おもちゃ図書館さくら ★ 子育てサロンまむ*まむ
- ⑮ ★ ランドセルをプレゼントします
★ 町内福祉施設見学ツアー
★ 身体障がい者 名所めぐりツアー
- ⑯ ★ ボランティア養成講座のお知らせ ★ 善意だより

社会福祉法人
事務局

大口町社会福祉協議会

月～金(土日祝・年末年始休) 8:30～17:15
電話(0587) 94-0060 FAX(0587) 94-0059
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ) 2階

ホームページ
Eメール

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>
chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp





.. 地域ふれあいサロン交流会 ..



令和4年4月25日、健康文化センター4階ほほえみホールで、地域におけるふれあいサロンの運営スタッフを対象に交流会を開催しました。令和3年度に1回以上開催したサロンは7か所、うち定期開催は6か所。時間を短縮しての開催、密にならない空間づくり、飲食なしのテイクアウト方式にするなど、様々な制限の中で出来ることを模索しながら、サロン活動をされています。

交流会後、コロナ禍で休止中だったサロンからも「サロンの大切さを改めて感じた。再開に向けてスタッフで話し合い、前向きに今後の活動について考えたい。」との声があった。また、「もっとみんなで話し合い、共有する時間が欲しかった。」という意見もいただきました。

第二部



健康お笑い隊「年金トリオ」による レクリエーションアイデア紹介

健康お笑い隊「年金トリオ」をお招きし、地域のサロン等でも活かせるアイデアとして、レクリエーション漫談、大道芸、ものまね寅さんショーを披露していただきました。



いつまでも健康で若々しく
過ごすためには、とにかく
笑うことが一番です!



あなたの住む地域で、サロンを立ち上げませんか？

新規立ち上げのご相談に応じ、準備をお手伝いします。「サロンに参加したい、サロンを手伝いたい」「運営で困っている」「もっとPRしたい」等、何でもお気軽にご相談ください。社協職員と一緒に企画・運営を考えます。

問合せ先 社会福祉協議会 電話 94-0060 FAX 94-0059



ふれあいサロン連載コーナー 第8回

豊田区 どんぐりころころ

日時 毎週金曜日 13:30~15:00
 場所 豊田学習等共同利用施設
 参加費 なし



体操中は換気し、距離をとって感染対策



包括支援センターによる健康チェック

平成27年度より大口町が、「いきいき100歳体操」を愛知県で広げることが目的として、モデル事業を始め、最初に町でモデルとなったひとつが豊田区の「どんぐりころころ」でした。

その後「体操だけでなく、お茶を飲んだり、おしゃべりしたり、みんなと交流できる場にした」と本会に相談。平成29年6月から、地域のみなさんと楽しく健康づくりを目指すサロンとしてスタートしました。

現在、参加者は16名ほどで、毎週欠かさずに参加されている方がほとんど。

毎回「いきいき100歳体操」で始まり、参加者は持参したおも

りを手慣れた様子で、手首や足首に装着し、自分のペースに合わせて体操を行います。

体操後は、コロナ前のような茶話会ができないため、スタッフによるミニお話し会や手品などを実施。

お茶が飲めなくても、楽しめるよう工夫しながらサロン活動を継続してきました。

代表の大森ゆみ子さんは、「家で体操しようと思っても一人ではなかなか続けられない。みんなと一緒にやるからこそ続けられます。これからも、地域のみなさんが楽しく健康で過ごせるようサロン活動を続けていきたい」と話しています。



体操後に、ミニお話し会や手品を披露することもある



豊田区どんぐりころころの参加者・スタッフのみなさん
 (写真撮影の間のみマスクを外しています)

感染者・濃厚接触者として
保健所から自宅待機を求められている方・世帯へ

新型コロナウイルス感染者支援

買い物 代行



生活の維持に必要な食料品
および日用品、弁当などの
買い物を代行します。

薬等の 受け取り



医療機関などの薬等の
受け取りを代行します。

その他

その他相談に
応じます。



対象者	保健所から感染者・濃厚接触者と認められ、自宅待機を要請された町民とその同一世帯の家族で、親族等によるサポートが受けられない方
支援期間	自宅待機の要請を求められた期間
その他事項	<ul style="list-style-type: none">●料金は無料です。●購入品の代金や有料レジ袋代はご負担ください。●まとめ購入にご協力をお願いします（1回 約5,000円以内）。●ご希望の品が揃わない場合があります。●店舗の指定はできません。●配達の際は、大口町社会福祉協議会の職員だと判別されないように工夫し、品物は玄関先に置かせていただきます。●配達完了の電話を入れますので、早めに回収してください。

社協フードバンク事業・大口町と協働 自宅療養応援セットのお届け



2～3日分のインスタントやレトルト食品、缶詰、飲料などが入った『自宅療養応援セット』を無料で社協職員が玄関先に配達します。



『応援セット』の一例（※世帯状況や商品の在庫状況によって異なります）

■受付時間 平日午前9時から午後5時まで（土日・祝日を除く）

■問合せ先 大口町社会福祉協議会 電話 **94-0060** FAX **94-0059**

しゃきょうおたすけ隊サービス

困ったときのSOS! Shakyo Otasuketai Service

生活のちょっとした困りごと、ちょっと誰かにたすけて欲しいこと、お手伝いします!

年をとってから、
高い所の作業が
できなくなって
困ってるの...



高い所の窓ふき、
お手伝いしますよ。



電球替えは
大変ですよ。
交換しますよ!

資源ごみと
不燃ごみは、まとめて
リサイクルセンターへ
出しますね!



重いものがもてないし、
車もないので、まとめて
ゴミ出しができないわ...



ホースから水が
漏れて困るわ...



ホースの金具が
ゆるんでいるので
交換しますね。
おまかせください!

持病で細かい
掃除ができなくて...



お掃除、
お手伝い
しますね!



●利用会員対象者

大口町にお住まいの高齢者、障がい者などの方で、
・ひとり暮らしの方 ・高齢者だけで生活している方
・同居家族があっても、手伝ってもらえない方

●協力会員対象者 (大口町内・町外は問いません)

健康でおたすけ隊の活動に協力いただける地域住民の方

●利用料(チケット制)

区分	利用時間数	利用料
サービス	1回 20分以上80分以内	協力会員1人につき 20分 200円
短時間 サービス	1回 10分以内	1回 100円

相談・お問合せは、社会福祉協議会まで

電話 **0587-94-0060**

FAX **0587-94-0059**

受付時間:平日 午前8時30分から午後5時15分まで

おたすけ隊は、日常の家事や電球交換など、
住民どうしのちょっとしたたすけあいです。
お気軽にお問合せください。
おたすけ隊コーディネーターがご案内します。

暮らしの安心 SOSおたすけ隊



令和4年度事業計画

～人をつなぎ、孤立を防ぐ地域福祉活動～



基本方針

人口減少・少子高齢化・経済格差に伴う貧困問題や地域社会の絆の崩壊など、多様化した課題への対応が求められる中、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが未だ見えず、生活様式さえも変わってきています。

人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことが出来る「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉活動のあり方について今一度見直し、時代に合った地域福祉事業の推進を図ります。

また、市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化、複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築が進められています。これは、対象者の属性を問わない相談支援・多様な参加支援・地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援

体制の整備で、社会福祉協議会においても、地域住民、ボランティア、民生委員児童委員をはじめとする福祉関係者、NPO団体、企業、行政関係機関等のみなさまのご協力をいただきながら、「支え合いの地域づくり」の推進や従来からの「伴走型個別支援」の充実に努めます。

災害については、昨年度大口町と「大口町災害ボランティアセンターの開設及び運営に関する協定」を締結、今年度も災害ボランティアセンターの人材育成や講座等を計画し、いつ発生するかわからない災害への備えに努めます。

さらに、法人運営の基盤の強化と地域福祉部門、在宅福祉部門が一体的に支援体制を整えることができる本会の強みを生かし、ワンチームで地域福祉推進に取り組みます。

重点取組5つの柱

ワンチームの地域福祉推進

法人運営の基盤強化

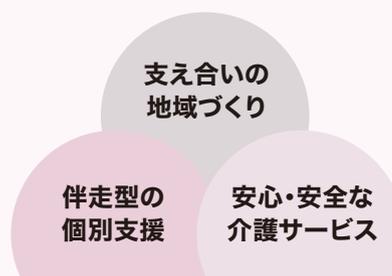
「支え合いの地域づくり」の推進

「伴走型の個別支援」の充実

平常時の災害への備え

安心・安全な
介護サービスの提供

社協の特色



大口社協は、「支え合いの地域づくり」と、福祉専門職による「伴走型の個別支援」、ヘルパー・デイサービス等の在宅介護サービスをひとつの法人の中で一体的に取り組むことができるところが、大きな特色です。

「支え合いの地域づくり」の 推進

『大口町総合計画』において、地域福祉は健康で安心な暮らしの基本施策のひとつとして位置づけられており、福祉教育の充実、社会福祉協議会の強化、担い手の発掘・育成、ふれあいサロン等の小地域福祉活動の促進、地域住民による見守りや生活を支える活動の推進等があげられています。

地域住民やボランティア、民生委員児童委員等のみなさまの参加を得ながら、「支え合いの地域づくり」に向け、それぞれの地区の地域性に合わせて取り組みを推進します。



平常時の災害への備え

近年、地震だけでなく身近な台風、豪雨等による災害が相次いでおり、各地の市町村社協が災害ボランティアセンターを開設し、災害時のボランティア活動をコーディネートしています。

ボランティアや行政と連携して災害ボランティアセンター設置運営訓練と人材育成に努め、災害用備品の整備等の備えを進めます。



「伴走型の個別支援」の 充実

さまざまな生活課題や日常生活の困りごとを抱えるすべての世帯を対象として、専門職が幅広く相談を受け、必要に応じ食料支援や資金貸付、福祉サービス利用援助、金銭管理、介護サービス、就労支援等、多様な課題解決策を用いて支援します。



安心・安全な 介護サービスの提供

ご利用者の健康と命の安全を守り、くらしを支える介護専門職として、制度の狭間で困難な生活課題を抱える人も含め、安心して利用できるサービスの提供とその質の向上に努めます。あわせて、地域への介護情報の発信や介護予防体操等の出前等、介護予防普及啓発事業を推進します。



法人運営の基盤強化

評議員会・理事会を中心とした社協組織全体でのチェック体制の強化に努め、財務状況や事業内容の積極的な公表等とあわせて、事業運営の透明性の確保を推進します。

また、社協会員の拡大により地域福祉事業の自主財源確保に努めるとともに、職員の人材確保と資質向上、コミュニティソーシャルワーカーの職員配置を推進し、法人運営及び事業実施の体制整備に努めます。

※新型コロナウイルス感染予防のため、密集する行事の中止・縮小等、事業の一部代替を行う場合があります。

大口町社会福祉協議会 評議員・理事・監事のご紹介

大口社協は、地域のみなさまの幅広い意見を取り入れながら、公共性・透明性の高い事業を実施するため、住民代表や団体代表等の方々の参加により、評議員会・理事会を組織しています。

以下のとおり、評議員・理事・監事をご紹介します。

(令和4年6月末現在 順不同、敬称略)



令和3年度第2回評議員会の様子(令和4年3月)

●理事(11名)

選出区分	氏名
区域における福祉に関する実情に通じている者	長谷川 実
	大森 明
区域において社会福祉事業を経営する団体の役職員	佐野 新
	宮崎 亮
ボランティア活動を行う団体の代表者	川橋 朝次
地縁組織(自治組織など)代表	宮田 和美(※)
福祉関係団体	宮地 弘信
	安藤 巖
社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	社本 一裕
	田中 義郎
	宇野 千春

(※)令和4年6月15日の評議員会において選任

●会長・副会長・常務理事(各1名)

役職名	氏名
会長	社本 一裕
副会長	安藤 巖
常務理事	宇野 千春

●監事(2名)

選出区分	氏名
財務管理に識見を有する者	渡邊 弘和
社会福祉事業に識見を有する者	前田 和久

●評議員(33名)

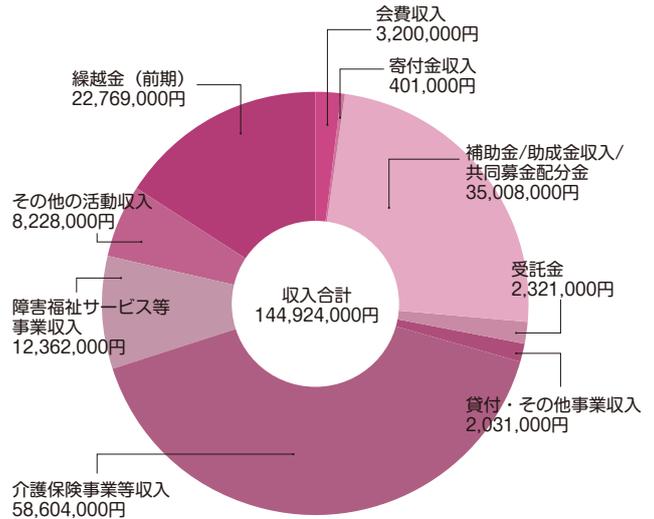
選出区分	氏名	選出区分	氏名	
社会福祉事業や学校等の その他公益事業の経営者	田中 一輝	地縁組織(自治組織などの 代表者)	佐藤 政治(※)	
	鈴木 洋子		吉村 定夫(※)	
地域の福祉関係者 (民生委員・児童委員)	松岡 徳雄		丹羽 隆之(※)	前田 光康(※)
	中西 房子		松本 佳子(※)	佐藤 和明(※)
	宮地 里美		廣瀬 英孝	渡辺 和信(※)
	河合知加子		武田 静雄	服部 三良(※)
	松坂志づ子		加藤 憲司	社本 元治
	近藤 義文		井戸 雅晴	藤川 優孝
津田三枝子	近藤 喜昭		瀬川 行男	
奥村 正義				
水野 幹子				
西村 武司				
五十嵐 進				
地域の経済団体が適切な ものとして推薦する者	宮川 周司	ボランティア活動を行う 団体の代表者	遠山 豊子	
酒井 孝				
区域内に置いて社会福祉事 業を経営する団体の役職員	泉 洋一(※)			

(※)令和4年5月31日の評議員選任・解任委員会において選任

予算総額 144,924,000円

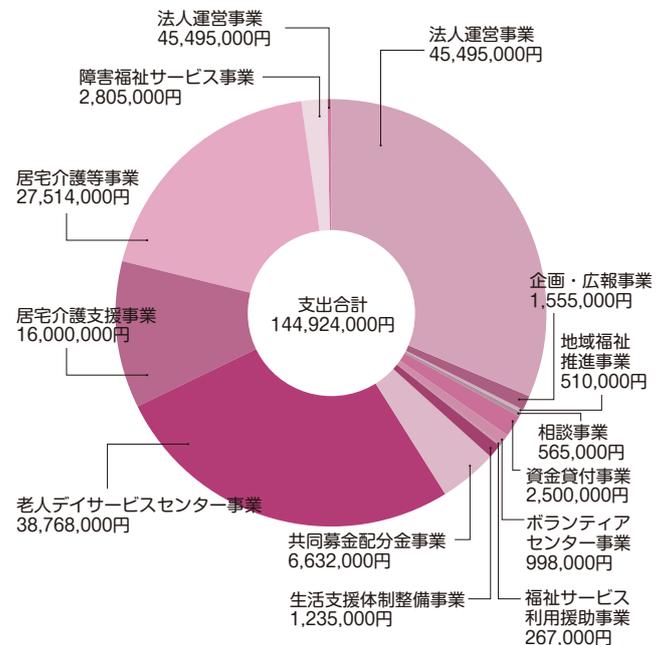
収入の部

項目	金額(単位:円)
会費収入	3,200,000
寄付金収入	401,000
補助金/助成金収入/共同募金配分金	35,008,000
受託金	2,321,000
貸付・その他事業収入	2,031,000
介護保険事業等収入	58,604,000
障害福祉サービス等事業収入	12,362,000
その他の活動収入	8,228,000
繰越金(前期)	22,769,000
収入合計	144,924,000



支出の部

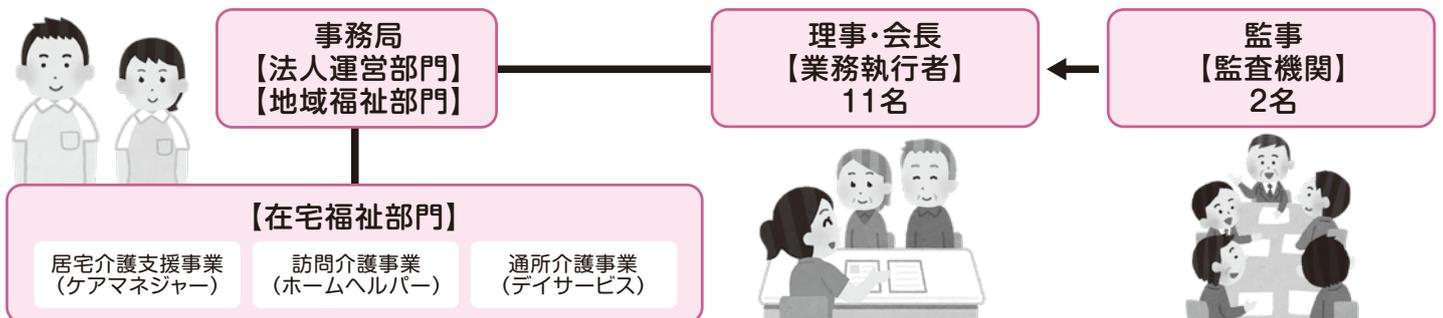
項目	金額(単位:円)
法人運営事業	45,495,000
企画・広報事業	1,555,000
地域福祉推進事業	510,000
相談事業	565,000
資金貸付事業	2,500,000
ボランティアセンター事業	998,000
福祉サービス利用援助事業	267,000
生活支援体制整備事業	1,235,000
共同募金配分金事業	6,632,000
老人デイサービスセンター事業	38,768,000
居宅介護支援事業	16,000,000
居宅介護等事業	27,514,000
障害福祉サービス事業	2,805,000
介護予防普及啓発事業	80,000
支出合計	144,924,000



大口町社会福祉協議会 組織体制

職員内訳	人数
事務局(法人運営・地域福祉)	6名
居宅介護支援事業(ケアマネジャー)	3名
訪問介護(ホームヘルパー)	10名
通所介護(デイサービス)	11名

(令和4年6月末現在)





大口子育て情報

ぎゅっと

【編集】大口町NPO 登録団体
「まみーぽけっと」

【HP】<http://www.geocities.jp/mammypocket2003/>

大口町には3つの児童センターがあります。お近くのセンターに遊びに行ってみましょう。
北保育園内には子育て支援センターがあり、様々な事業をおこなっています。

■大口町児童センター■

施設名	場所	電話番号
大口南児童センター	大口町御供所三丁目258番地	0587-95-3528
大口北児童センター	大口町下小口三丁目139番地	0587-95-7141
大口西児童センター	大口町余野六丁目439番地	0587-96-0481

- ★利用者 0歳から18歳までの児童と児童に関する団体
- ★休館日 日曜日、祝日および国民の休日、12月29日から翌年1月3日
- ★利用料 無料
- ★利用時間 9:30~18:00(土曜日および夏、冬、春休み期間は8:30~18:00)

■子育て支援センター■

「引越したばかりなので、お友達がほしい」「雨の日や子どもの機嫌が悪いときに遊べる場所が欲しい」という保護者の方は、ぜひ一度子育て支援センターに遊びに来てみませんか？

※子育て支援センターは、未就学児のお子さんとその保護者、妊婦さんが利用できます。

※町内、町外問わず自由来館できます。

- ★利用時間 9:30~15:00
- ★休館日 土曜日、日曜日、祝日および12月29日から翌年1月3日

★事業内容



おしゃべりカフェ

子育て中の親子の
出会いの会です。一緒に
楽しくお話をしましょう

子育て講座

0・1・2歳、パパと
遊ぼう、子育ての
ヒントを学びましょう

誕生会

満1歳・2歳の誕生を
お祝いしましょう

体操・ふれあい遊び・
紙芝居など
毎日おこなっています

お誕生日おめでとう電話

赤ちゃんが生まれたら産後
2週間くらいまでにすべての産婦さんに連絡します。
お母さんの体調や育児の相談ができます

誕生会と
身体測定は、毎月
おこなっています

子育て期の疑問や悩みなど育児相談をおこなったり、各制度やサービスにつないだり、子育て期の支援をしています。
電話相談・面接相談どちらも受付けていますので、お気軽にご相談ください。

大口町子育て支援センター

大口町中小口二丁目619番地(大口町立北保育園)
☎0587-95-3668



「フレイル」をご存じですか？
 年をとって体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態を「フレイル」といいます。
 そのまま放置すれば、要介護状態になる可能性があります。
 大事なことは、早めに気づいて適切な取り組みを行うこと！
 健康的な生活を送るために、今回はフレイルについて紹介します。



まずは自分の状態をチェック！

- 1日3食きちんと食べていますか？ はい ・ いいえ
- 半年で2～3kg以上の体重減少はありませんか？ はい ・ いいえ
- ふだんから家族や友人と付き合いがありますか？ はい ・ いいえ
- 散歩などの軽い運動を週に1回以上していますか？ はい ・ いいえ

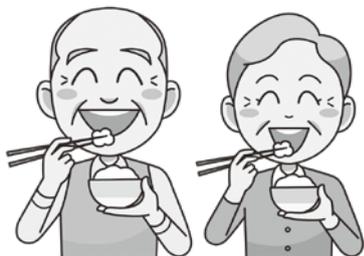
いいえが多い人は注意！

フレイルを予防するための3つのポイント

① 栄養

食事の改善

バランスのとれた食事を3食しっかりととりましょう。また、お口の健康（口腔ケア）にも気を配りましょう。



② 身体活動

ウォーキングやストレッチなど

加齢に伴って筋力は低下します。まずは近所を散歩することから始めてみませんか？



**フレイル
予防**

③ 社会参加

趣味・ボランティア・就労など

趣味やボランティアなどで外出することはフレイル予防に有効です。自分に合った活動を見つけましょう！

出典：厚生労働省作成パンフレット『食べて元気にフレイル予防』

たくさん食べて、たくさん笑って、たくさん出かけましょう

【お問い合わせ先】大口町社会福祉協議会 電話 94-0060 FAX 94-0059

ボランティア情報局

夏休みボランティア出前講座

☆今年で10年目を迎えます☆



場所	日にち	実施サークル・内容など (詳しくはサークル紹介で)
西児童センター ☎96-0481	8月3日(水)	災害救援ボランティア いざというときに、新聞紙やロープが役に立つことの体験をします。
	8月4日(木)	大口マジッククラブ 初の出前講座です。マジックでみなさんの心をつかみますよ～。
北児童センター ☎95-7141	8月5日(金)	手話サークル コスモス 簡単な手話や、ジェスチャーを使ったクイズやゲームなどをします。
南児童センター ☎95-3528	8月19日(金)	高齢者疑似体験 うさぎとかめ お年寄りが日常生活でどのようなことで不自由さを感じているのかを体験します。
	8月24日(水)	大口おもちゃ図書館 さくら 「いろいろなおもちゃの遊び方を体験しよう!」障がいの有無を問わず、みんなで楽しく遊べるおもちゃ遊びなど。

ボランティア出前講座の目的と参加対象は？

目的は、簡単に楽しい体験をとおしてボランティア活動への関心を深めてもらうことと、より多くの子どもたちへ福祉教育を推進していくことです。

コロナ禍のため、今年も児童センターを利用するお子さんが参加対象です☆

人数制限を実施する場合がありますので、ご了承ください。

連絡先・ボランティア連絡協議会 ☎0587-94-0060



災害救援ボランティア

いつもの活動

- ・はそりを使った炊き出しや、災害ボランティアセンターの立ち上げなどの訓練をおこなっています。
- ・防災に関する各種研修・講座(避難所運営ゲーム(HUG)、災害図上訓練(DIG))への参加や、講師活動、実施協力などで活動しています。
- ・東日本大震災復興支援ボランティア活動に参加、その後も町内でおこなわれている被災地支援活動(支援物資の袋詰め等)に参加しています。



前回の出前講座の様子

出前講座では～

引っ張っても結び目が動かないが、必要となれば、水で濡れていても簡単にほどくこともできる「もやい結び」や、ケガをしたときの応急処置として三角巾の使い方の体験をします。また、新聞紙で簡単に作れるスリッパの作成もします。

今年の出前講座は私たちのサークルです！

大口マジッククラブ

いつもの活動

- ・毎回講師の方をお呼びしてマジックの指導を受け、様々な機会で開催しています。
- ・みなさん数え切れないほどの持ちネタがあるそうですよ～!



出前講座では～

どんなことをするのかは、「ひ・み・つ」かな～。お楽しみにしてくださいね。



手話サークル コスモス

いつもの活動

- ・小中学校から依頼があれば、総合学習（福祉実践教室）の講師として活動しています。
- ・聴覚障がい者と手話を通じて情報交換し、交流をしています。
- ・手話の必要性を社会に伝えていく活動もしています。



前回の出前講座の様子

出前講座では～

自己紹介や簡単なあいさつや歌などを手話で表現してみましよう。ジェスチャーで、カードに描いてある絵を伝えたり、身近なものを表してみましよう。どれだけ、人に伝えられるかの体験ができます。



高齢者疑似体験うさぎとかめ

いつもの活動

- ・疑似体験用器具をつけて、お年寄りが日常生活でどのような不自由さを感じているのかを体験し、お年寄りの気持ちやコミュニケーションの取り方を学んでいます。
- ・大口町内の小学校、尾北看護専門学校、その他依頼のある学校などで活動しています。



前回の出前講座の様子

出前講座では～

- ・手袋をはめたまま、ファスナーの上げ下げ、ボタンかけ、落ちたカードを拾ったり、おはしで豆をつかんだりして、指先の不自由さを体験します。
- ・ゴーグルや耳せんをして紙しばいを見たり、パズルをやることにより、見えにくさ・聞こえにくさの体験をします。
- ・足や手に器具をつけて、手足の不自由さを体験します。

大口おもちゃ図書館 さくら

いつもの活動

- ・毎週第2土曜日・第3木曜日におもちゃ図書館を開催しています。おもちゃ図書館は心身の発達に遅れがあってもみんなが楽しくおもちゃで遊ぶことのできる場所です。
- ・あなたも楽しいおもちゃ遊びを見つけてみませんか？



前回の出前講座の様子

出前講座では～

いろいろなおもちゃの遊び方を体験しよう!障がいや病気をもつ子どもたちにも、楽しくやさしいおもちゃ遊びです。初めて見るおもちゃにも出会えるかもしれませんよ。



写真は前回の活動の様子です。今年も、新型コロナウイルス感染症防止に十分配慮して活動しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



懐かしい話に花を咲かせて、心リフレッシュ!

オレンジカフェ・大口

オレンジカフェ・大口 開催情報

- 日時 毎月第3木曜日
13:30~14:30 (時間短縮で開催中)

7月	8月	9月
21日	18日	15日

- 場所 大口町生きがい活動センター
- 対象者 介護や認知症に関心のある方ならどなたでも
- 参加費 100円
- 問合先 社会福祉協議会 電話 94-0060



ふらっと寄って、ほっと一息つきませんか?

フリースペースれんげそう

フリースペースれんげそう 開催情報

- 日時 毎月第4木曜日
13:30~15:00 (時間短縮で開催中)

7月	8月	9月
28日	25日	22日

- 場所 大口町健康文化センター4階 和室
- 対象者 「こころが疲れているな…」と感じる方
- 参加費 100円
- 問合先 社会福祉協議会 電話 94-0060

大口おもちゃ図書館さくら

『遊びの広場』再開のおしらせ

- 毎月第2土曜日、第3木曜日
- 午前10時から12時まで
- 健康文化センター2階 おもちゃ図書館



オレンジカフェとは?

オレンジカフェとは、介護や認知症に関心ある人が気軽に集まり、情報交換や相談、介護予防・認知症予防に役立つレクリエーション・体操等が体験できる場所です。

専門職(地域包括支援センター職員・社協職員)による介護相談も行っています。



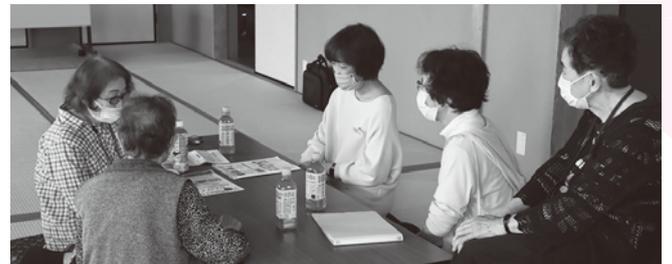
あなたのところに、うるおいとやすらぎを! 仲間やボランティアと一緒に話しながら、ゆったりとした時間を過ごしましょう。どなたでも気軽に立ち寄ってみてください。

ボランティア募集中!

れんげそうでは、一緒にお手伝いして下さるボランティアを募集しています。

初めてで不安の方も安心して活動できるよう、随時見学可能です。

また、秋頃には傾聴ボランティア養成講座を開催する予定です。詳細はP16をご覧ください。



子育てサロンまむ*まむ

再開のおしらせ

- 毎週火曜日 午前10時から12時まで
- 健康文化センター2階 おもちゃ図書館

7/5 セタイベントを開催します♪
詳細は社協ホームページをご覧ください

抽選ではずれた方には
図書カード
プレゼント!

来春、小学校へ入学されるお子さんへ ランドセルをプレゼントします

町内にお住まいのひとり親家庭で、令和5年4月に小学1年生になられるお子さんを対象に、大口社協が寄贈でいただいた旧モデルのランドセルをプレゼントします。

数に限りがございますので、応募数が上限に達した場合は、厳正なる抽選の上、お贈りします。

当選された方には、お手紙でお知らせいたします。抽選ではずれた方には、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

ランドセルの色別個数

赤色	10個
黒色	1個
水色	1個
パープル	1個
(ラインストーン付き)	

■ 応募方法 郵便はがきに、①～④をご記入の上、切手を貼ってご応募ください。官製はがきでも可能です。

- ① お子さんと保護者の氏名
- ② 住所
- ③ 日中、連絡がとれる電話番号
- ④ ご希望の色を下記の選択肢から選び、第1希望から第3希望までご記入ください

赤色・黒色・水色・パープル

■ 応募先 〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
健康文化センター2階

■ 締切 大口町社会福祉協議会 ランドセルプレゼント係
8月1日(月) 消印有効
■ 問合せ先 社会福祉協議会
電話 94-0060 FAX 94-0059

- ◆ 寄贈品につき、物品の不具合については保証いたしかねます
- ◆ ランドセルの色や形の詳細は社協ホームページに掲載しています

Check!

大口社協

検索 



ガイドが映像で
名所を案内!
お土産付き

参加者募集

身体障がい者 大口で見る名所めぐりツアー

映像で楽しむ日帰り旅行を開催します!

- 日時 8月30日(火) 午前10時～11時頃予定
- 場所 健康文化センター4階 ほほえみホール
- 対象者 身体障害者手帳をお持ちの方または大口町身体障害者福祉協会会員と付き添いの介護者1名
※送迎が必要な方は相談可
- 参加費 1人500円
- 定員 40名(介護者を含む)
※先着順、定員になり次第受付を終了
- 申込み 7月4日(月) 午前9時から受付開始
- 申込先 社会福祉協議会
電話 94-0060 FAX 94-0059



施設パンフレットの
セットを
差し上げます!

参加者募集

町内福祉施設見学ツアー

大人も!子どもも!福祉に触れるきっかけに

- 日時 8月4日(木)
午前10時集合、12時頃解散予定
- 集合場所 健康文化センター1階 多目的室
- 対象者 町内在住の方
家族や友人同士グループでの参加OK!
小学1・2年生のお子さんは、必ず保護者同伴でお願いします。
- 参加費 無料(給食の提供はありません)
- 定員 15名
※先着順、定員になり次第受付を終了
- 申込み 7月4日(月) 午前9時から受付開始
- 申込先 社会福祉協議会
電話 94-0060 FAX 94-0059

点訳

ボランティア 養成講座



町内の小学校で実施されている福祉実践教室の点字教室で講師のサポートをしたり、広報や配布物を点字にして、目の不自由な人にお伝えする点訳ボランティアを募集しています。

養成講座は誰でもやさしく始められる入門編ですので、ぜひご参加ください!

- 日にち 9月6日(火)、9月13日(火)
9月20日(火)、9月27日(火)
10月4日(火)、10月11日(火)
10月18日(火)の7日間
- 場 所 健康文化センター2階 ボランティア室
- 対象者 大口町内・町外を問わず募集
- 参加費 500円(テキスト代を含む)
- 講 師 名古屋ライトハウス情報文化センター
森下 美帆 氏
- 協 力 ボランティア登録団体 点訳フレンド
- 申込み 7月4日(月) 午前9時から
窓口・電話で受け付けます。

傾聴

ボランティア 養成講座



傾聴ボランティアとは、相手の気持ちを尊重しながら、相手の身になってお話を聴き取るボランティアのことです。

傾聴はボランティア活動だけでなく、家族や職場等において、豊かな人間関係を築くことにも役立つコミュニケーション技術。

あなたも傾聴に触れてみませんか?

- 日にち 11月14日(月)、11月21日(月)
11月28日(月)の3日間
- 場 所 健康文化センター1階 多目的室
- 対象者 大口町内・町外を問わず募集
- 参加費 500円(テキスト代を含む)
- 講 師 早川 一枝 氏(傾聴士)
一宮市傾聴ボランティア「みみの木」代表
- 協 力 ボランティア登録団体 だんぼ
- 申込み 7月4日(月) 午前9時から
窓口・電話で受け付けます。

申込み先 社会福祉協議会 電話 94-0060 FAX 94-0059

善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄付・寄贈が寄せられました。

厚くお礼申し上げますとともにご報告します。

順不同

(3月1日～5月20日 取扱い分)



秋田さわやかクラブ様



トーシンテック株式会社様

マザックボランティアクラブ 様	13,178円
秋田さわやかクラブ 様	10,000円
(一社)アクティバル 代表理事 古田 政一 様	39,752円
匿名	5,000円
匿名	10,000円
トーシンテック株式会社 様	飲料、インスタントラーメン、缶詰類 合計46個
株式会社シルビア 様	ドーナツ1,200個、ビスケット800個、スナック菓子600個
藤田 尚男 様	未使用タオル・バスタオル
匿名	旧モデルランドセル20個

お詫びと訂正

社協だより第118号(令和4年4月号)の16ページ『善意だより』において、未記載の記事がありました。お詫びして、ここに紹介させていただきます。
大口町建設協力会 様 100,000円
あたたかい寄付をいただき、誠にありがとうございました。